「団地の一角からはじまるhyggeな地域づくり」

株式会社ぐるんとびー　代表取締役　菅原健介

東海大学付属デンマーク校

1985年（ゆきさんデンマーク）

1992年−1998年（中学・高校を過ごす。勇我さんと出会う）

自己紹介

1. 株式会社セプテーニ(IT広告会社)
2. 理学療法士　鶴巻温泉病院
3. 東日本大震災　キャンナス
4. (株)ぐるんとびー　設立・独立
   - 2015　小規模多機能型居宅介護
   - 2017　訪問看護ステーション
   - 2018　こどものスポーツトレーニング活動（週1／無料）
   - 2019　介護保険外サービス(産後リハ、御用聞き）
     社会福祉法人コンサルティング事業
   - 2020.1　湘南大庭地区　分譲マンション1階に
     看護小規模多機能開所予定

地域活動　役員

◆湘南大庭地区
- 郷土づくり推進会議（地域づくり部会リーダー/2期）
- 自治会連合会(48自治会/2期）
- 小地域ケア会議

◆藤沢市
- 藤沢型地域包括ケアシステム推進会議（地域密着/2期）
- 小規模多機能連絡会（3期）
- 介護保険事業所連絡会　副理事長(2期）

◆地域団体
- 多業種交流会　絆の会　代表（2011年～現在）毎月
- 湘南大庭の会　代表（2015年～現在）毎月
- 共創かまくらプロジェクト代表(鎌倉市長　松尾たかし48の公約）

ぐるんとびーが目指す社会

地域ごとのビジョンを住民が共有し

連帯と地域道徳の中で

共生に向けて対話し続ける社会

動き始めた理由

東日本大震災とキャンナス

24時間365日滞在での支援活動
枠を越えてやった結果、疲弊した
価値観の対立でぶつかった
ボランティアナースが綴る
ドキュメント
東日本大震災
全国訪問ボランティアナースの会
キャンナス

家族が幸せに暮らせる社会を創りたい

ひとりひとりがつながり合う社会へ
ぐるんとびーの取り組み

『困っても何とかなる！』

そんな『人』がいる『まち』に住みたい

UR都市機構パークサイド駒寄団地（260世帯） 高齢化率：約70%

＊保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士が居住

小規模多機能ホーム
ぐるんとび

スタッフのほとんどが地域住民

相互に助け合う

多世代で自然と暮らす

団地や近所の子どもたち
待機児童、不登校、
障害をもった子供
多世代交流、成長の場にも

生活の中での『健康にかかわる大人』との交流
～医療・介護人財の育成～

地域で看取る
死生観を育てる

毎日のあたりまえの暮らしを継続する

毎日が外食

6月15日(土)
~6月16日(日)
2600円
480円
560円
たまにはこんな日も

好きなこと　やりたいこと

もともとのコミュニティや活動に

つなぎ・もどる

やりたいことを手伝う

定例の俳句の会へ
小規模多機能ホーム

生活が楽しいから

目が輝く！

元気になる！！

NHK【定年女子】
脚本に！

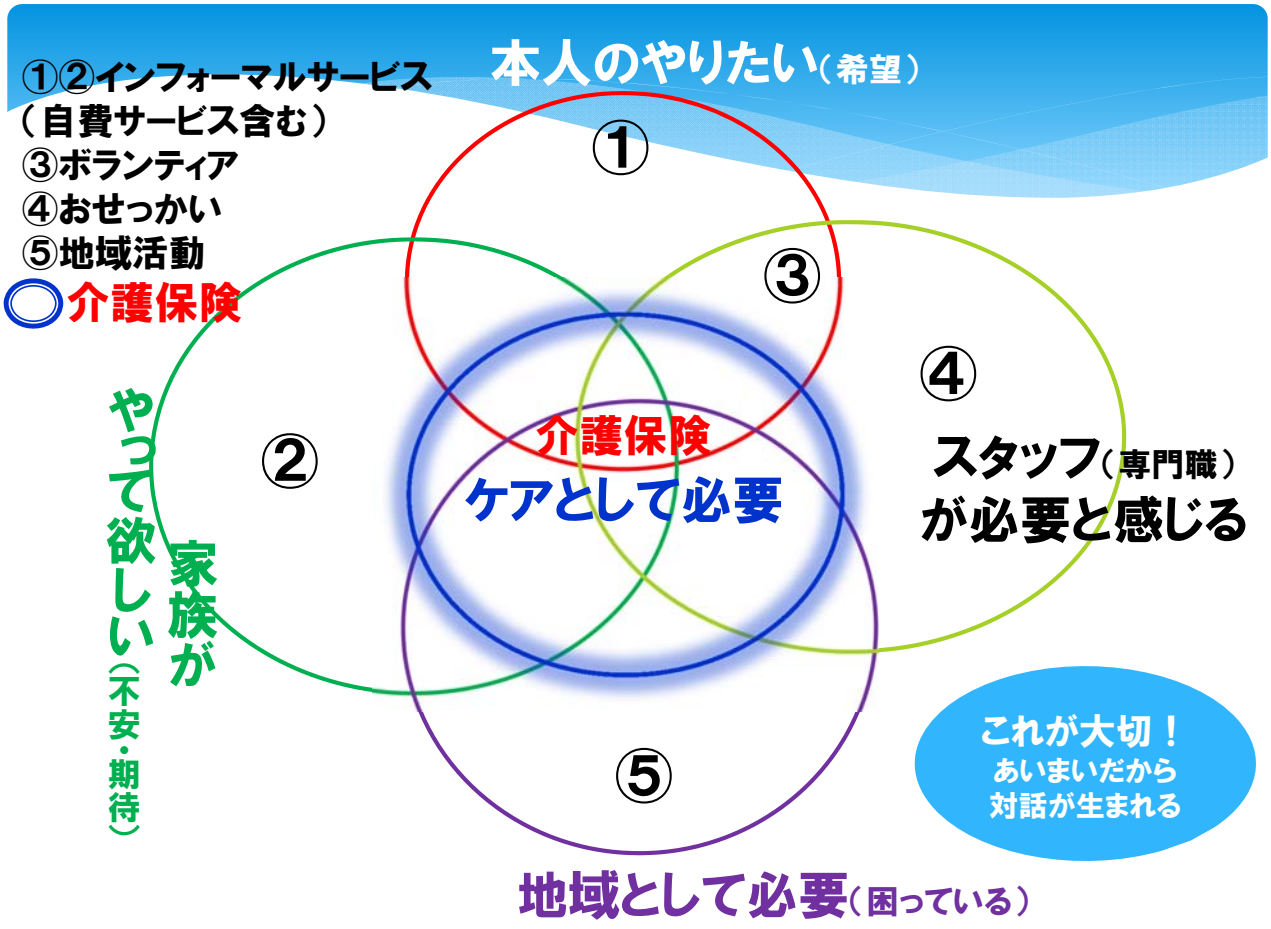
仕事か暮らしか！？

制度を家族やご近所づきあいなど
暮らしの延長線上で使う

集合住宅
介護施設での時間を共にする価値

暮らしの中で得られる安心感

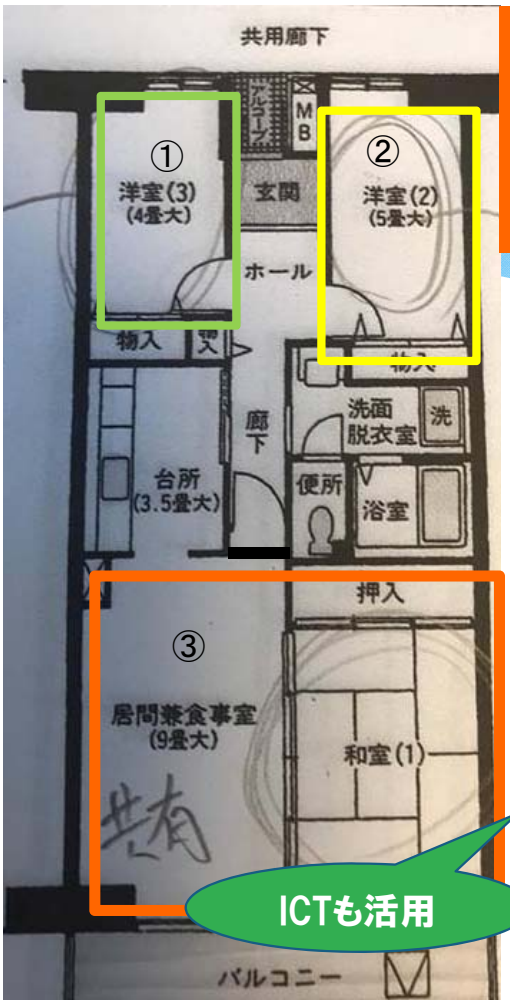
『困った』を放置せず、すぐに対応すれば
安心して生活できる可能性はあがる
『量は質を凌駕する』


本人のやりたい（希望）
①②インフォーマルサービス
（自費サービス含む）
③ボランティア
④おせっかい
⑤地域活動
介護保険
①
②
③
④
⑤
介護保険
ケアとして必要
家族が
やって欲しい（不安・期待）
スタッフ（専門職）
が必要と感じる
これが大切！
あいまいだから
対話が生まれる
地域として必要（困っている）

どこまでが『介護』でやるのか分からない

だからこそ、スタッフみんなで

地域みんなで考える



家賃が2万円しか払えない！？ 新しいカタチの住まいへ ぐるんと『ルームシェア』

家賃10万円

①要介護５　２万円

②要介護５　８万円

③シングルマザー、学生、高齢者

⇒家賃無料

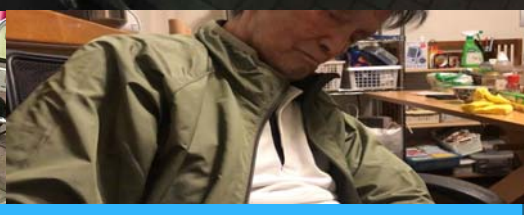
⇒かつ6万円の収入も可能

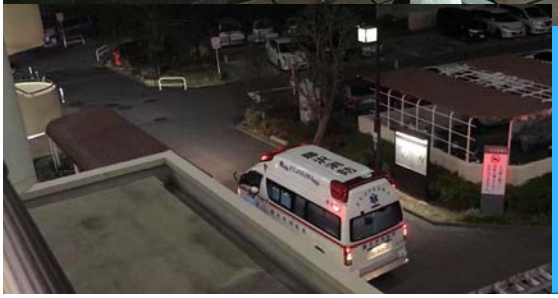
昼・夜食事づくり　1食500円×2人×30日した場合

団地の高齢者6人分をつくれば　18万円の収入も可能か。

暮らしの中で起こり続けている
小さな不幸せから逃げずに向き合う
何かやってみる！

利用者以外の暮らしの中での相談・緊急対応





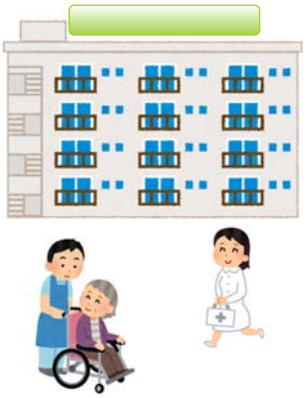
対応した具体例
・転倒・流血した人、脳梗塞の救急対応
・行政からの利用者外の方の安否確認
・UR様から利用者外の方の安否確認

UR都市機構へ提案中

団地の中に入れたら

- 訪問看護／リハ
- 小規模多機能
- コーディネート機能

後付け　サ高住
後付け　老健



【御用聞き】 ちょっとした困りごと解決／つながりづくり

【スポトレ】 子どもたちと道徳教育／つながりづくり

（共催）株式会社ぐるんとびー

（共催）株式会社ぐるんとびー

【ハモニケーション】 子どもたちと道徳教育／つながりづくり

【産後リハ】 ママのセーフティーネット／つながりづくり

産後リハビリテーションとは？

妊娠・出産により女性の体は大きく変化し、腰痛・骨盤痛、尿失禁、肩こりなど、多くのマイナートラブルが生じやすくなります。
そのようなマイナートラブルに対しては、産後できるだけ早期からの症状の予防・ケアが必要です。
より良い産後の生活を送っていただくために、医師、助産師、理学療法士が連携をとり、産後のお母様を心身ともにサポートさせていただくのが「産後リハビリテーション」です。

効 果

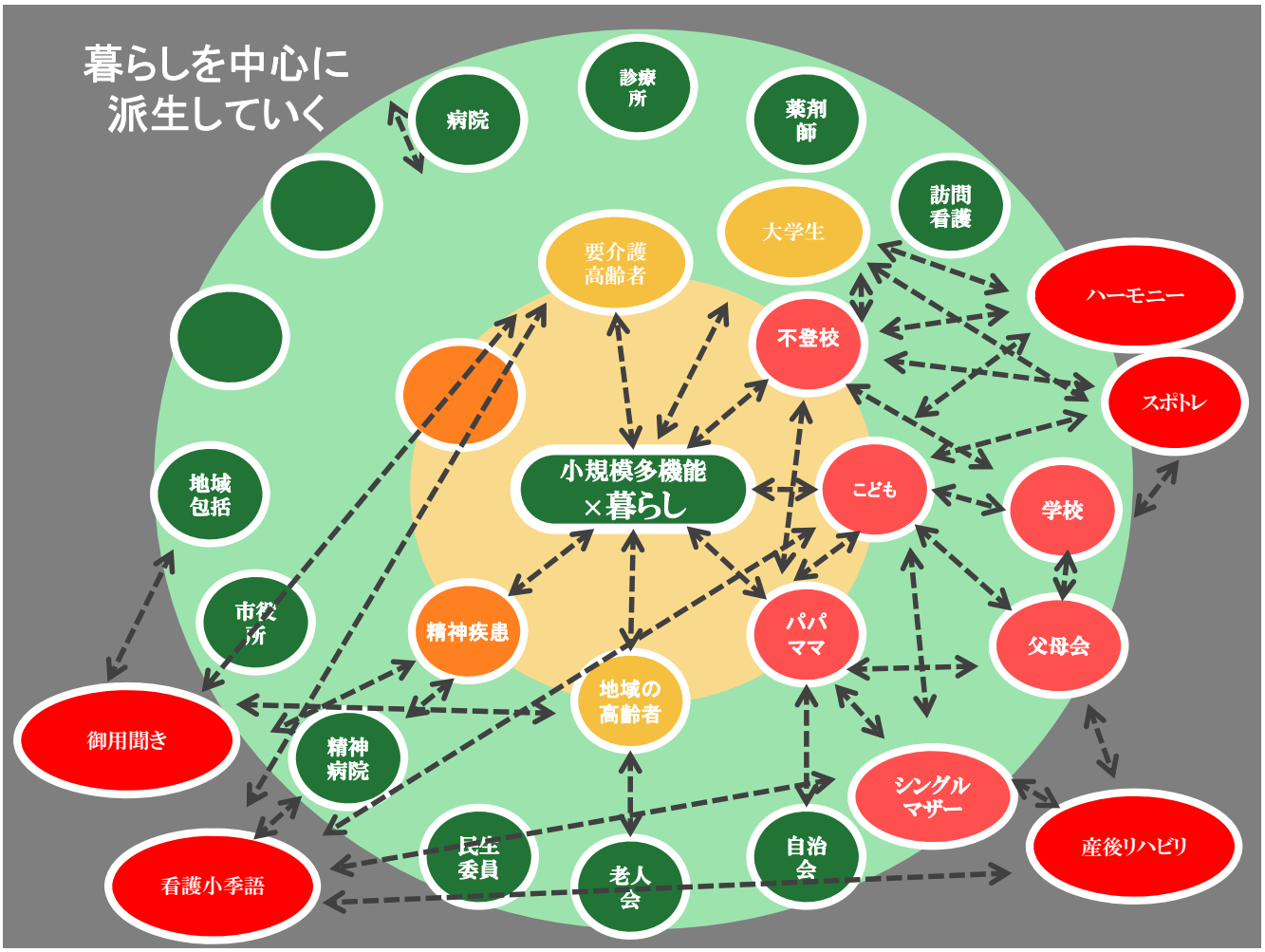
・腰痛、骨盤痛の改善 ・肩こり、頸部痛の改善
・尿漏れ感の改善 ・体力向上 ・ダイエット

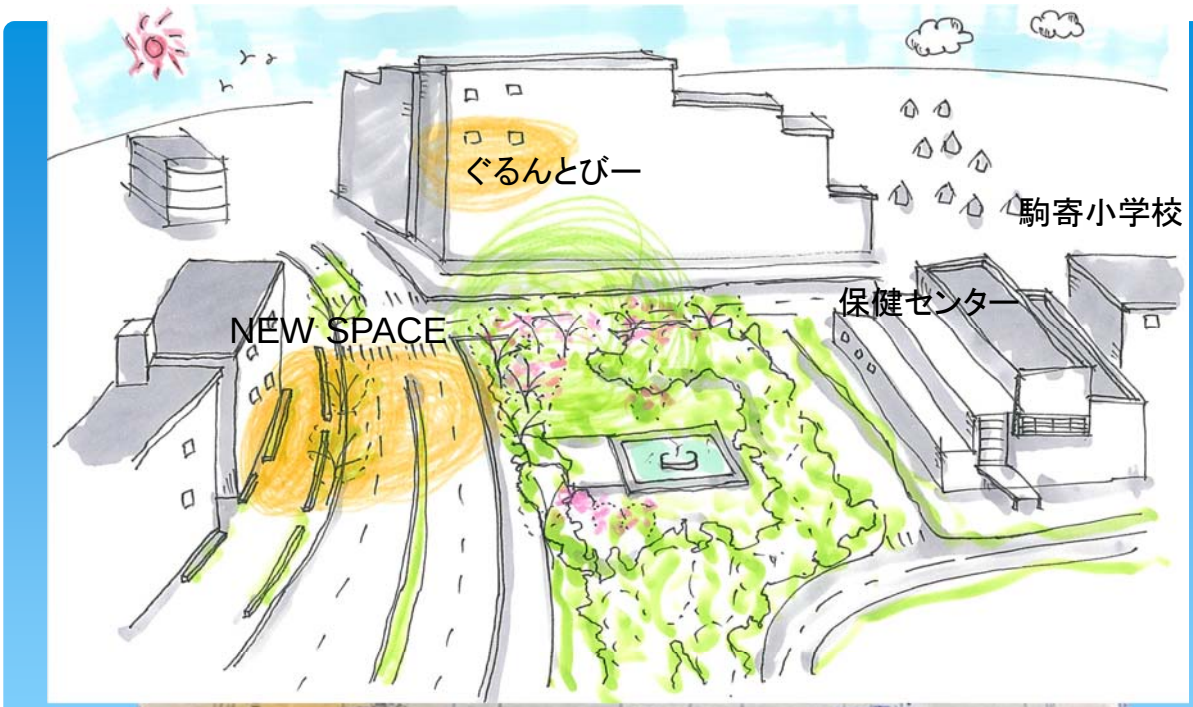
こんな方が対象です

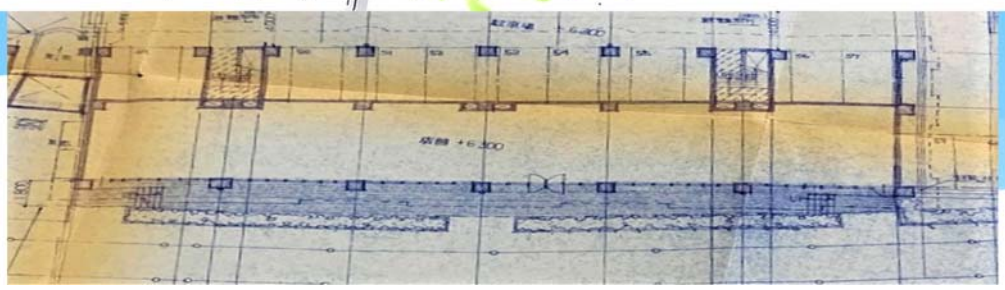
医師による産後の1か月健診を受け、運動の許可を受けた方

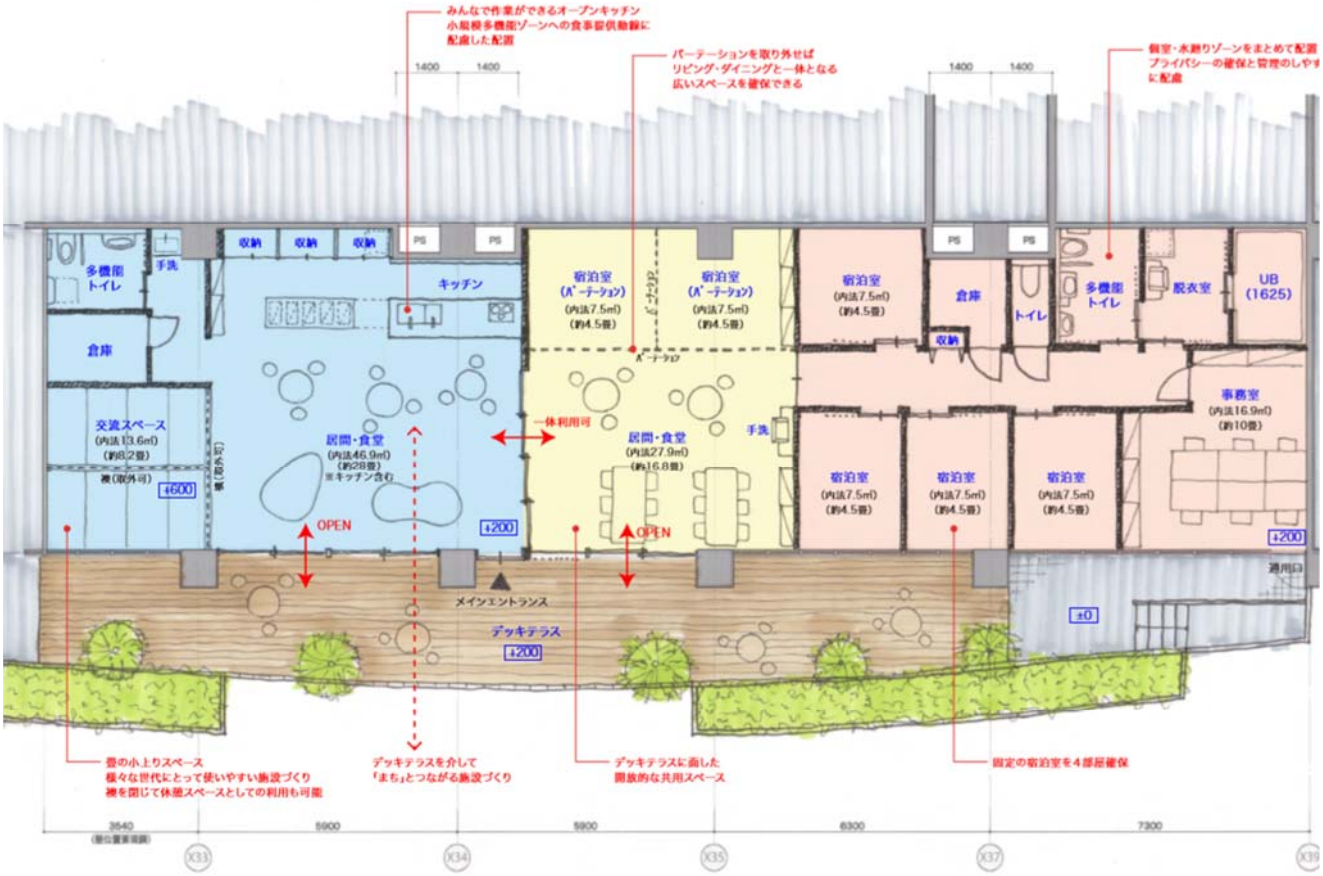
ぐるんとびー訪問看護ステーション
0466−54−7099
〒251-0861神奈川県藤沢市大庭5529-7
キャセイアークヴィラIII・102
【お問い合わせ】平日 9:00-17:00

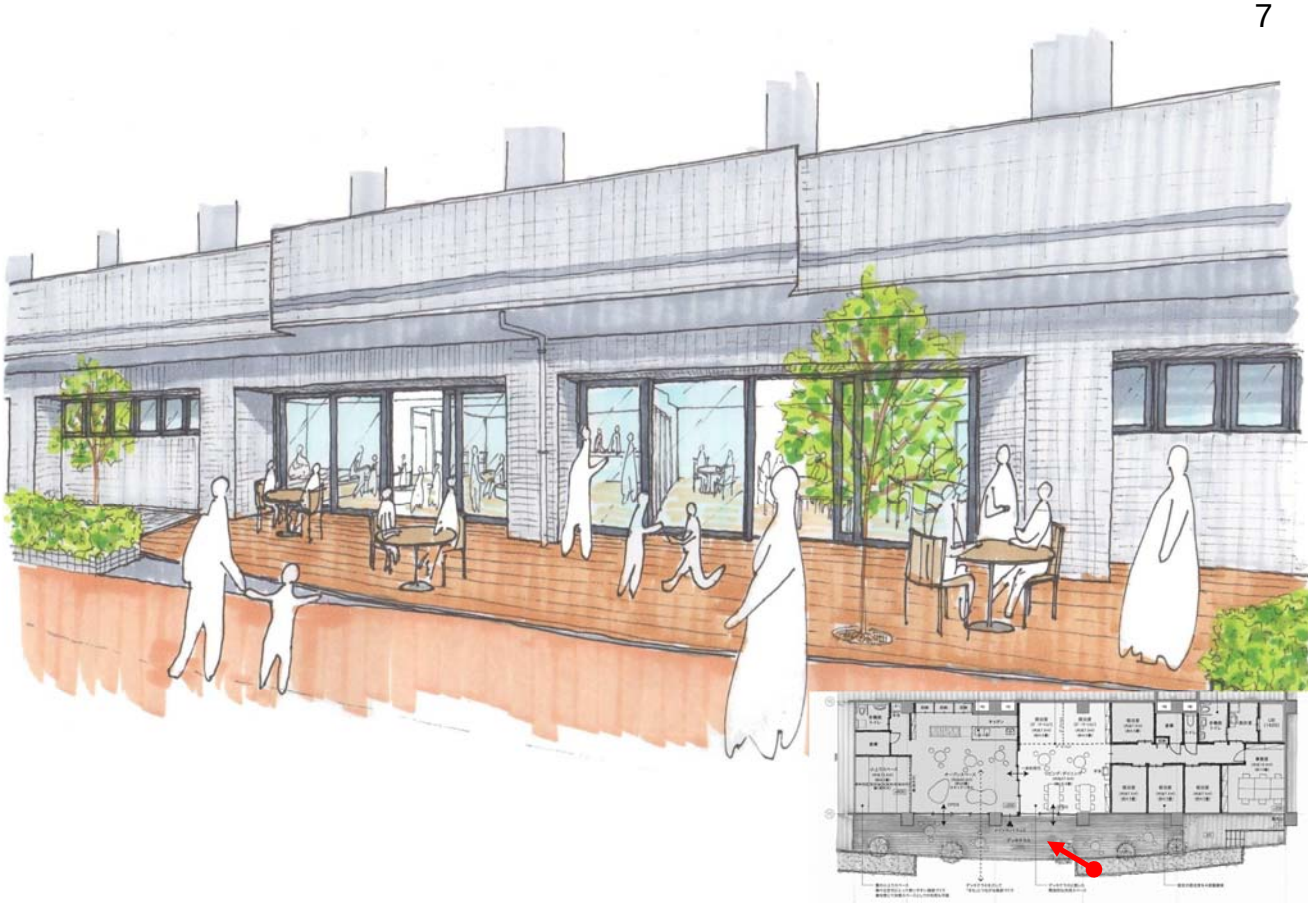
START UP 記念キャンペーン
先着10名様限定!
体験グループレッスン
~~¥5,000（税別）~~ → ¥3,500（税別）


暮らしを中心に
派生していく
病院
診療所
薬剤師
訪問看護
大学生
要介護高齢者
ハーモニー
不登校
スポトレ
地域包括
小規模多機能×暮らし
こども
学校
市役所
精神疾患
パパママ
父母会
地域の高齢者
御用聞き
精神病院
シングルマザー
民生委員
自治会
産後リハビリ
看護小季語
老人会


ぐるんとびー
駒寄小学校
保健センター
NEW SPACE




みんなで作業ができるオープンキッチン
小規模多機能ゾーンへの食事提供動線に
配慮した配置
パーテーションを取り外せば
リビング・ダイニングと一体となる
広いスペースを確保できる
個室・水廻りゾーンをまとめて配置
プライバシーの確保と管理のしやすさ
に配慮
1400
1400
多機能
トイレ
手洗
収納
収納
収納
PS
PS
キッチン
宿泊室
(パーテーション)
(内法7.5m²)
(約4.5畳)
宿泊室
(パーテーション)
(内法7.5m²)
(約4.5畳)
宿泊室
(内法7.5m²)
(約4.5畳)
倉庫
トイレ
多機能
トイレ
脱衣室
UB
(1625)
倉庫
交流スペース
(内法13.6m²)
(約8.2畳)
机(取外可)
+600
居間・食堂
(内法46.9m²)
(約28畳)
※キッチン含む
OPEN
+200
一体利用可
居間・食堂
(内法27.9m²)
(約16.8畳)
手洗
OPEN
宿泊室
(内法7.5m²)
(約4.5畳)
宿泊室
(内法7.5m²)
(約4.5畳)
宿泊室
(内法7.5m²)
(約4.5畳)
事務室
(内法16.9m²)
(約10畳)
+200
メインエントランス
デッキテラス
+200
±0
段の小上りスペース
様々な世代にとって使いやすい施設づくり
襖を閉じて休憩スペースとしての利用も可能
デッキテラスを介して
「まち」とつながる施設づくり
デッキテラスに面した
開放的な共用スペース
固定の宿泊室を4部屋確保
3540
5900
5900
6300
7300
X33
X34
X35
X37



住民が主体となって、必要な機能を共創していく

里親

『教育』
楽しく生きるための
『相互学習』の実践の場

『医療介護の総合相談』
訪問看護ステーション
小規模多機能/看護小規模多機能
サ高住/グループホーム
障害系サービス

『職場』
CAFÉ・居酒屋・食堂

『介護保険外サービス』
御用聞き

『こども』
託児/企業内保育
こども小規模多機能

『ボランティア総合センター』
サークル活動/人財マッチング

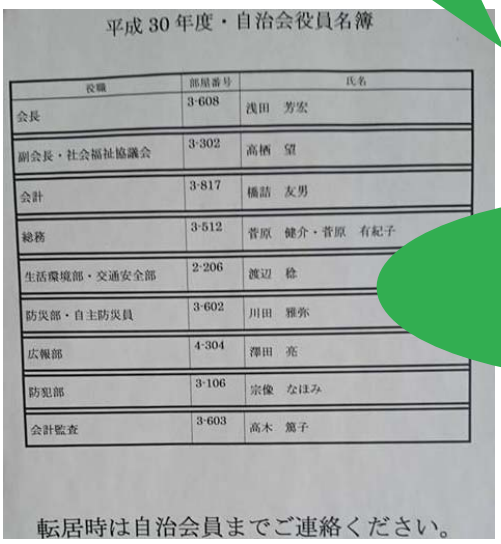
『ルームシェア』
学生・社会人
海外介護人財
高齢者

『エネルギー自給自足』
フィットネスセンター

『ベーシックインカム』
福祉ファンド
自治会費

当事者意識をもったスタッフが
地域活動の役員に次々参画していく

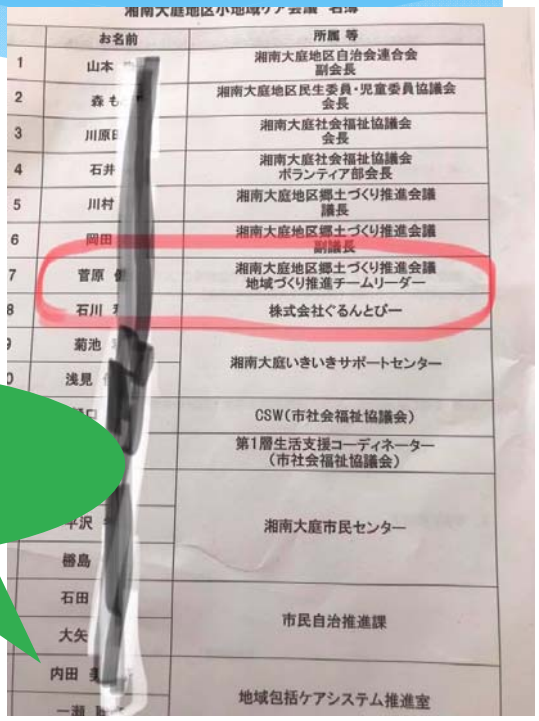
◆自治会活動
自治会役員
自治会連合会


平成30年度・自治会役員名簿

役職	部屋番号	氏名
会長	3-608	浅田　芳宏
副会長・社会福祉協議会	3-302	高橋　望
会計	3-817	橋詰　友男
総務	3-512	菅原　健介・菅原　有紀子
生活環境部・交通安全部	2-206	渡辺　稔
防災部・自主防災員	3-602	川田　雅弥
広報部	4-304	澤田　亮
防犯部	3-106	宗像　なほみ
会計監査	3-603	高木　篤子

転居時は自治会員までご連絡ください。

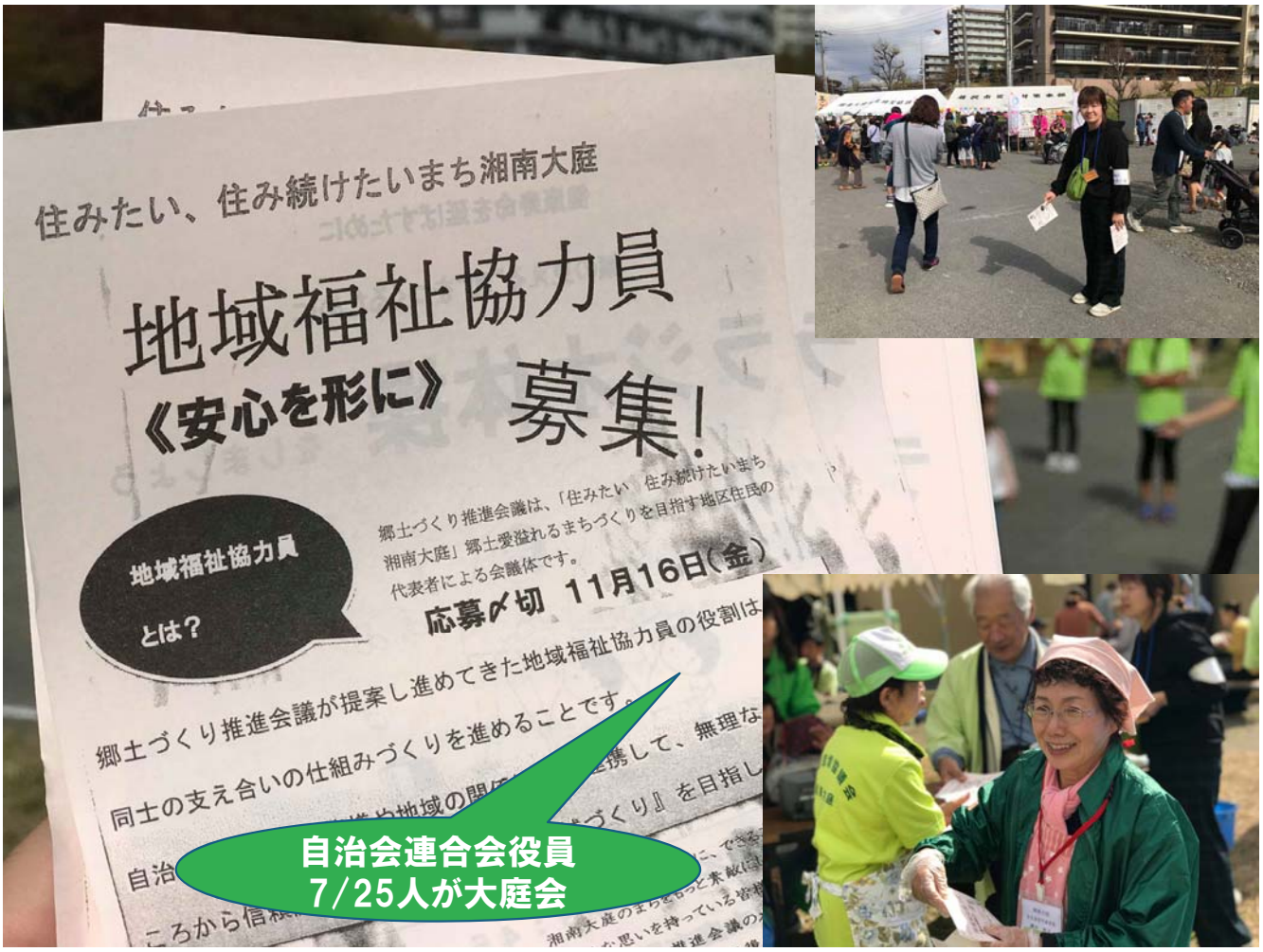
◆地域委員
郷土づくり推進会議
小地域ケア会議
地域の縁側事業


湘南大庭地区小地域ケア会議　名簿

	お名前	所属 等
1	山本	湘南大庭地区自治会連合会 副会長
2	森	湘南大庭地区民生委員・児童委員協議会 会長
3	川原	湘南大庭社会福祉協議会 会長
4	石井	湘南大庭社会福祉協議会 ボランティア部会長
5	川村	湘南大庭地区郷土づくり推進会議 議長
6	岡田	湘南大庭地区郷土づくり推進会議 副議長
7	菅原	湘南大庭地区郷土づくり推進会議 地域づくり推進チームリーダー
8	石川	株式会社ぐるんとぴー
9	菊池	湘南大庭いきいきサポートセンター
10	浅見	
		CSW(市社会福祉協議会)
		第1層生活支援コーディネーター (市社会福祉協議会)
	平沢	湘南大庭市民センター
	櫛島	
	石田	市民自治推進課
	大矢	
	内田	地域包括ケアシステム推進室
	一瀬	

湘南大庭自治会連合会

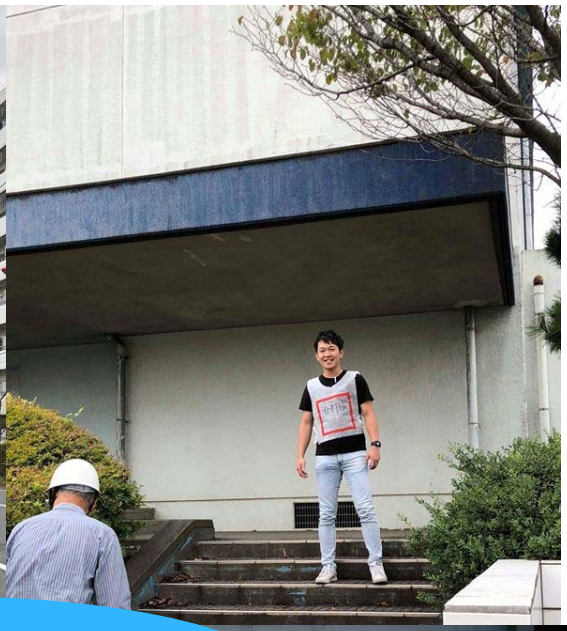
【地域をみんなで支える！若手を呼び込む】



私を含めた主催者は湘南大庭の仲間である多業種のつながり
①図書館員(認知症に優しい図書館)②ママ(郷土づくり委員)③内装屋(自治会長)
④トラック運転手(地域のこどもは俺のこども)⑤福祉事業経営者(私)

自治会の飲み会 （みんなで一緒！？）

お祭りや運動会など
地域活動の中心に

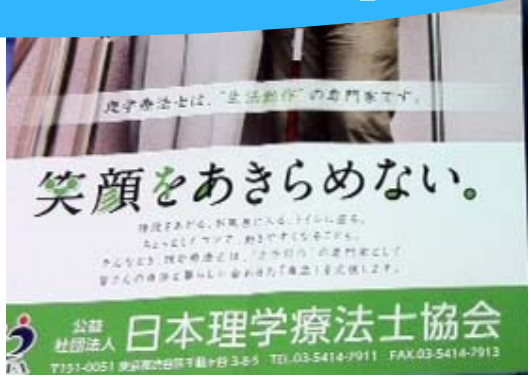


駒寄地区防災協議会

かながわ福祉サービス大賞受賞

などメディア含め、取り上げて頂きました

デンマーク国営放送
『デンマークが学ぶべきことがここにある』



世界一幸せな国『デンマーク』

福祉大国ではなく、生活大国であるデンマーク
フォルケホイスコーレとN.F.S.グルンドヴィ

コンスタンチン・ハンセンによるNFS・グルントヴィ

●フォルケホイスコーレのコンセプト

フォルケホイスコーレというコンセプトを提唱したのは デンマーク国民の父と呼ばれるN. F. S.グルンドヴィです。彼は当時の硬直した暗記中心の教育を批判し、**生徒と教師が寝起きをともにしながら（寄宿制）「生きた言葉」で語り合い響き合うような対話を重ねて、自分たちをとりまく世界を学ぼう**、と訴えました。そして公教育からは独立した学校の設立を提唱したのです。

根底にあるのは、**「人間同士の対話による相互の人格形成」**への想いです。

●N.F.S.グルンドヴィの教育理念

グルントヴィの理念はデンマーク民主主義社会をつくる基礎となりました。それまでの学校は、ラテン、フランス、ギリシャ、ドイツなどの外国語や外国文化が重視され、暗記教育が殆どでした。一部の上流階級の人たちだけが高等教育を受け、母国語しか話せない農民の文化は低俗とみなされていました。

グルンドヴィはそれを強く批判し、**親から子へと代々伝えられてきた母国語と、そこからうまれてきた地域文化こそが尊く、美しい**のだと訴えたのです。**それは「生きた言葉」による対話と、競争でない共生からなる生活をもとめた教育理念**を提唱。

正しさや常識なんて
時代や場所でいくらでも変わる

『より良く生きる』ことに向かって

『正しい』を固定化させず

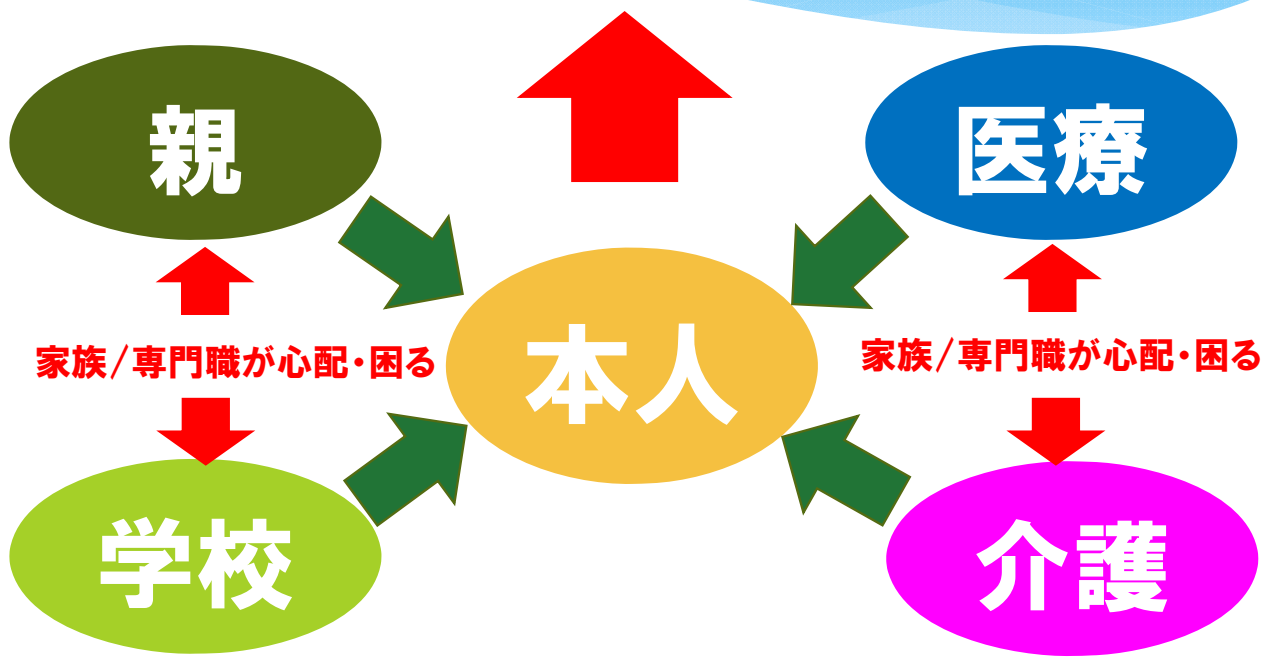
ALWAYS　WHY　で考え

その瞬間での『最適解』を更新し続ける

ぐるんとびー×湘南大庭地域

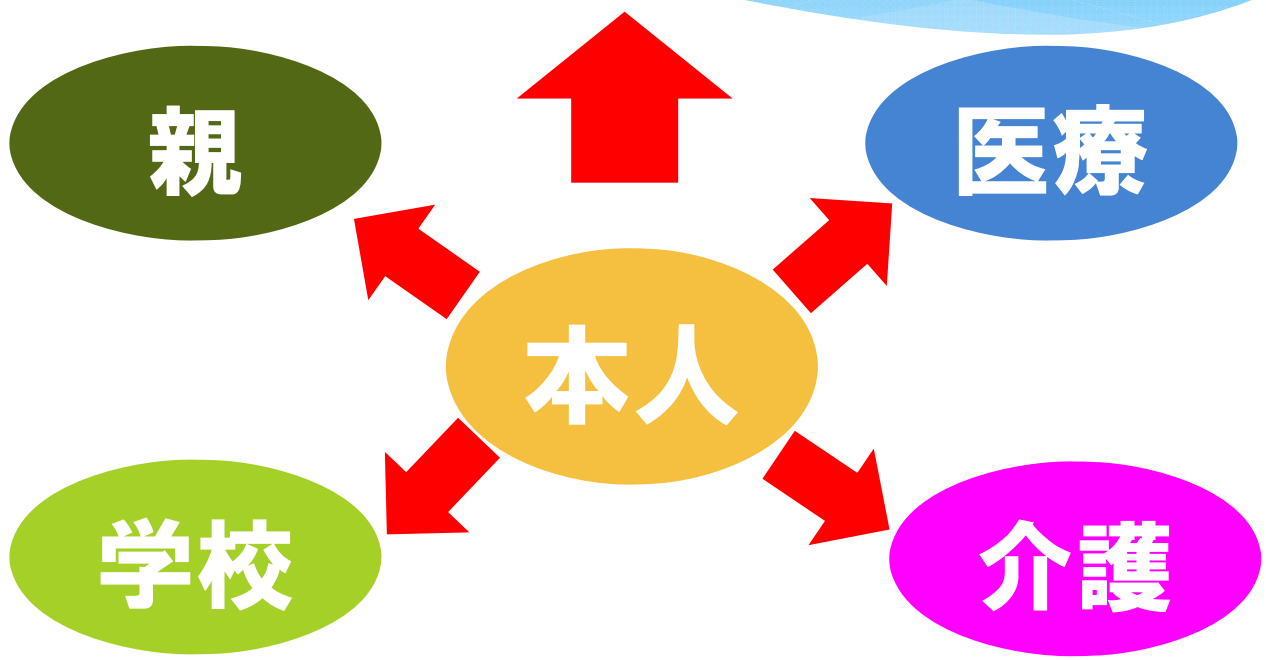
地域共生のための地域道徳

HAPPYに生きる



【～した方が良い】【～させる】

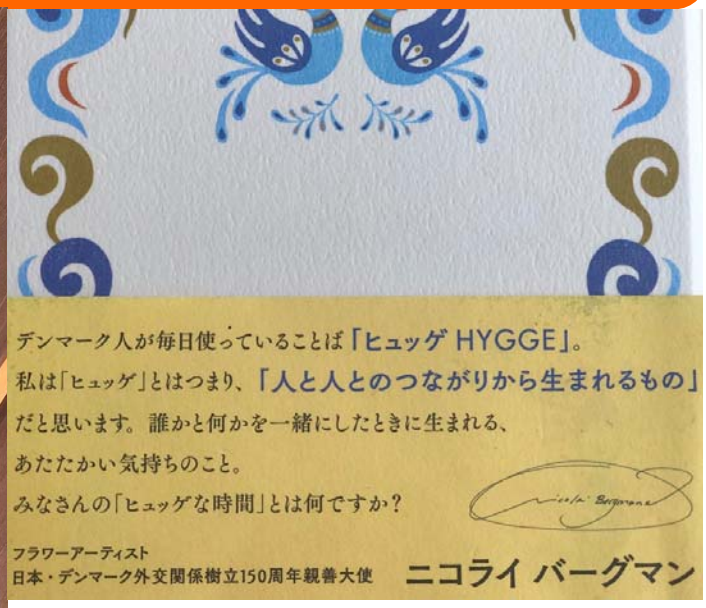
HAPPYに生きる



【～したい】【～したいを手伝う】

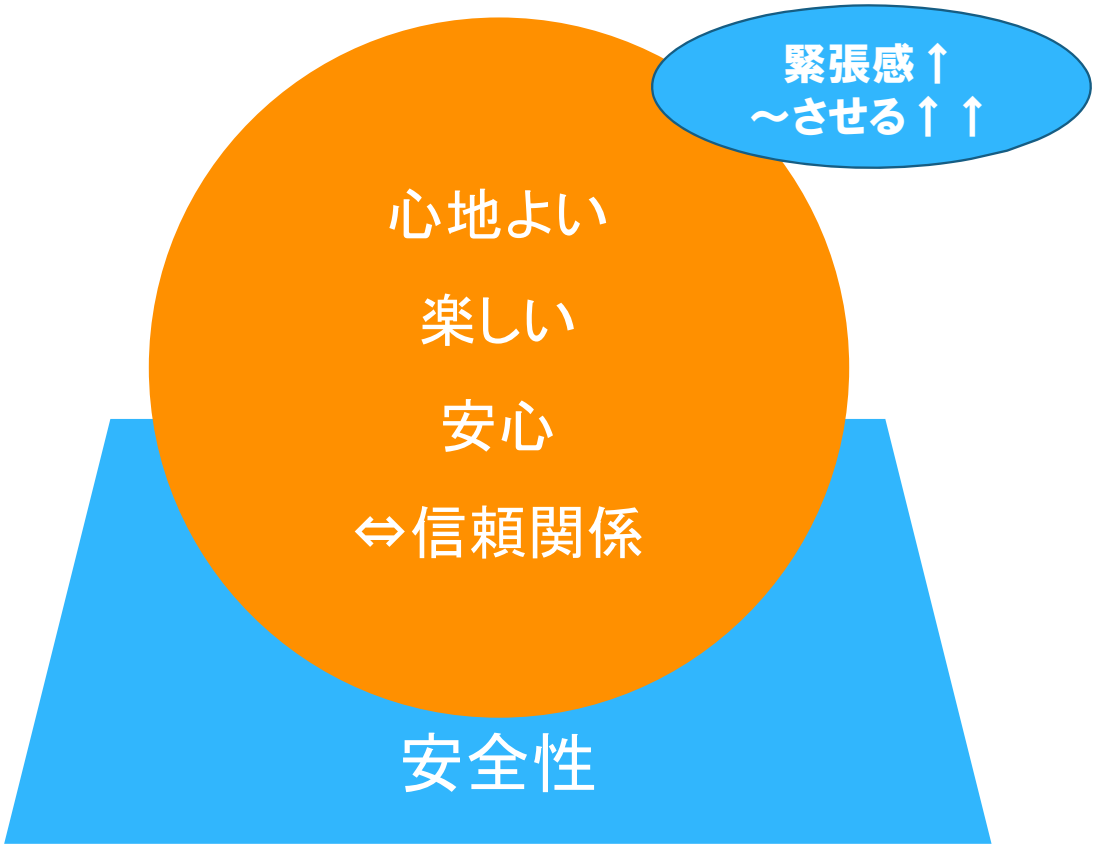
人には『失敗する権利』がある

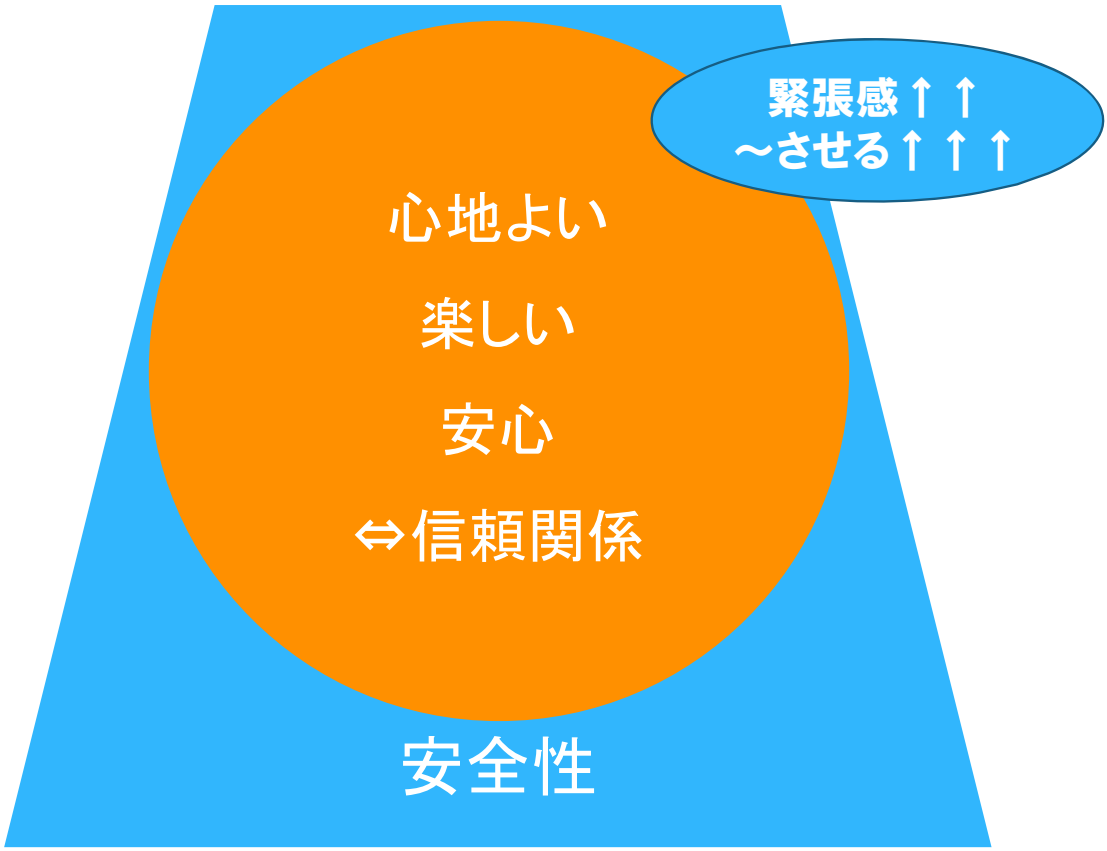
HYGGEとは？



小規模多機能ホーム

心地よい
楽しい
安心
⇔信頼関係
安全性

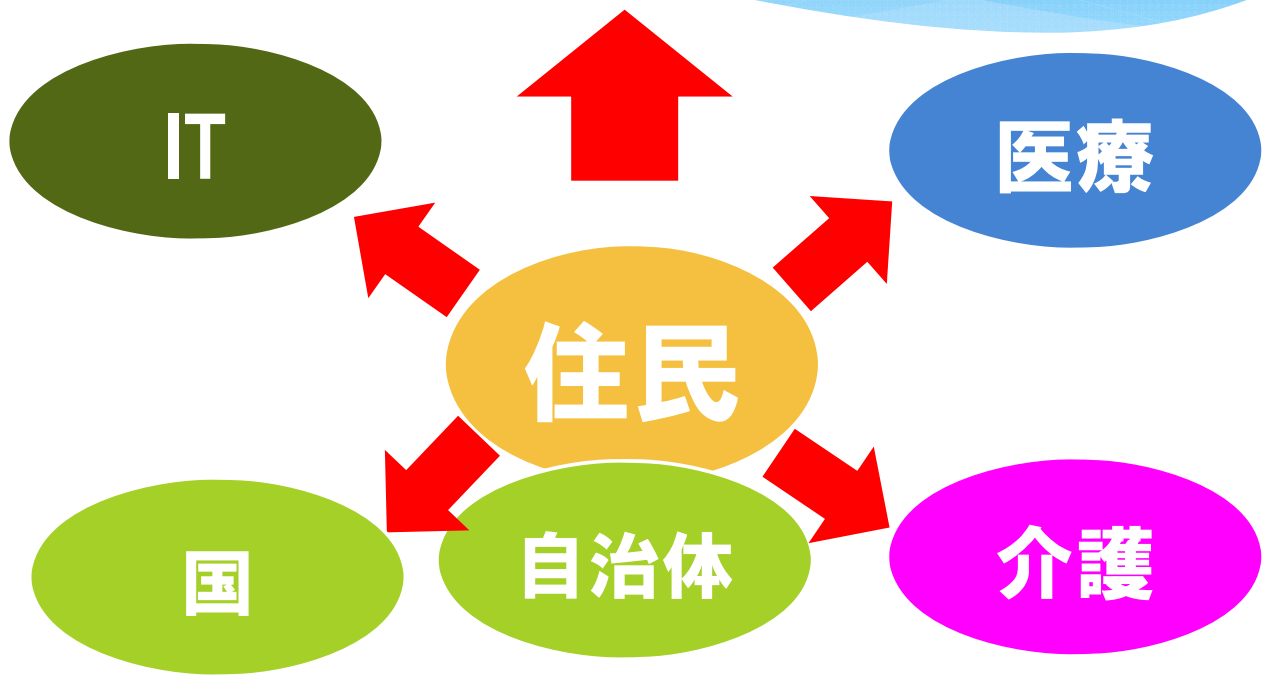

緊張感↑
～させる↑↑
心地よい
楽しい
安心
⇔信頼関係
安全性


緊張感↑↑
～させる↑↑↑
心地よい
楽しい
安心
⇔信頼関係
安全性

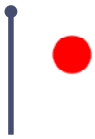
正しさ≦楽しさ

HAPPYに生きる

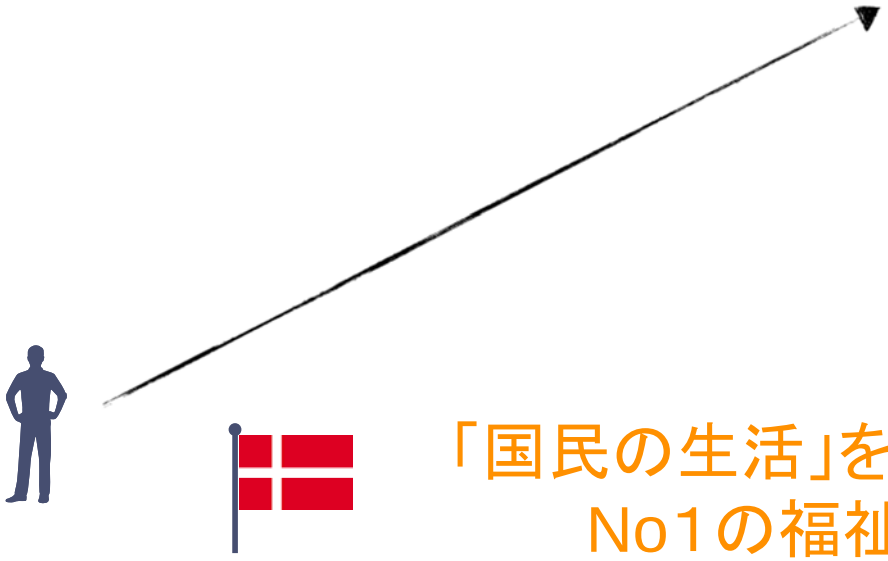
HAPPYに生きる



日本とデンマークの前提の違い

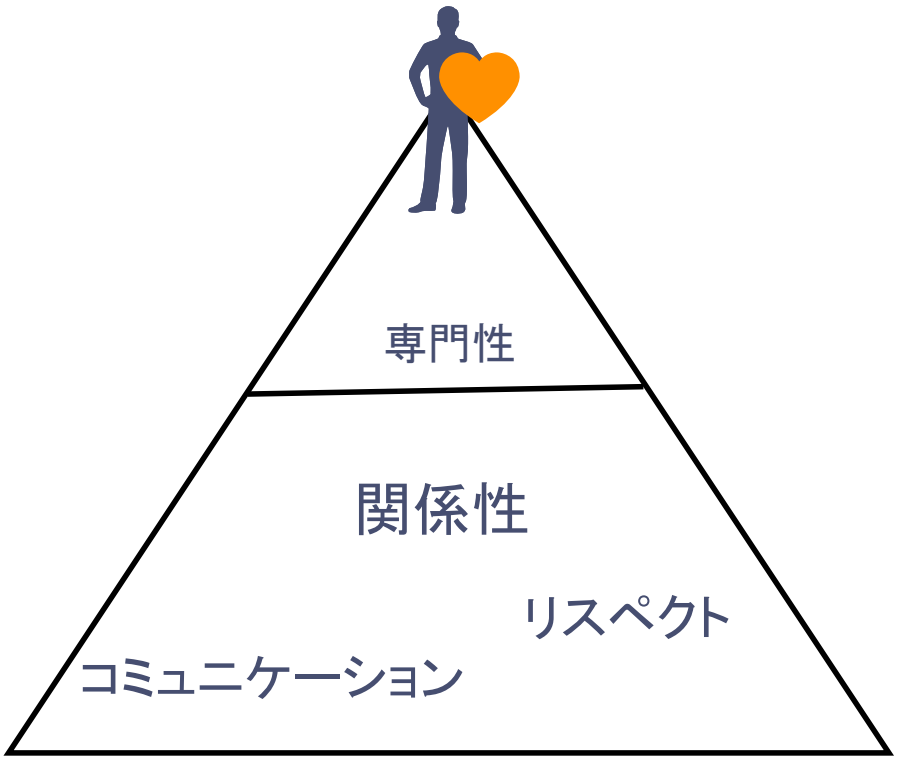


「経済大国」を目指し、
結果としてNo1に!!

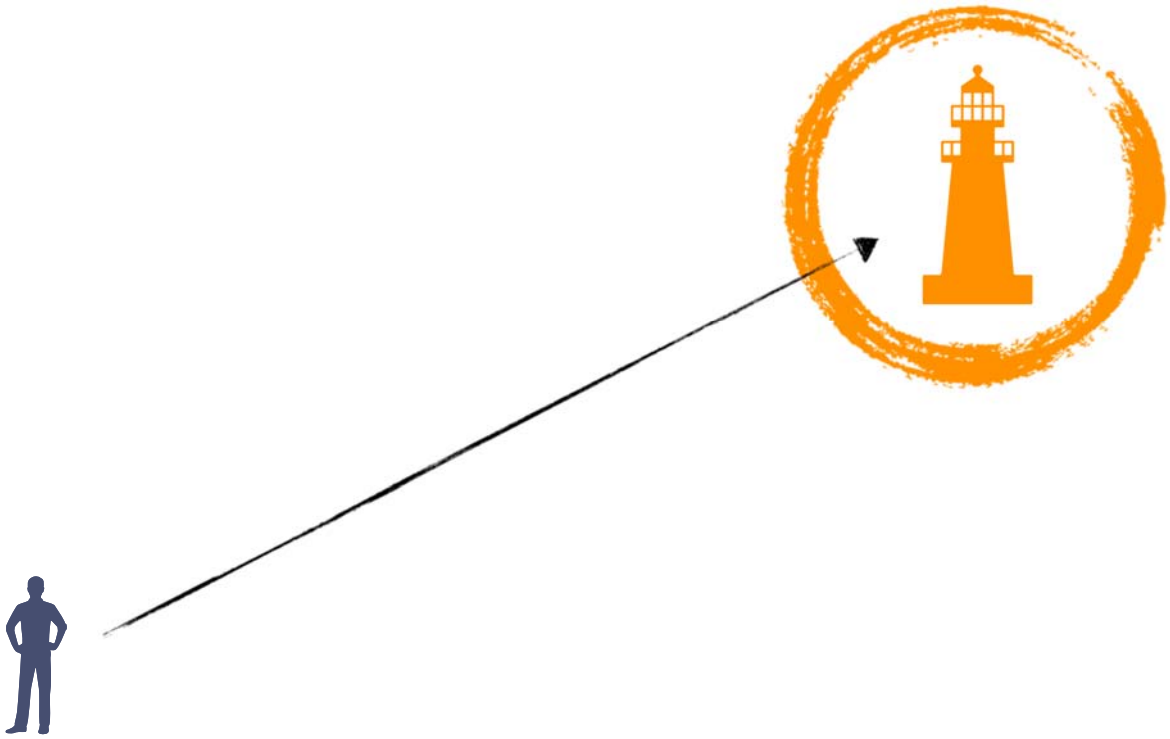


「国民の生活」を大切にし
No1の福祉国家に!!

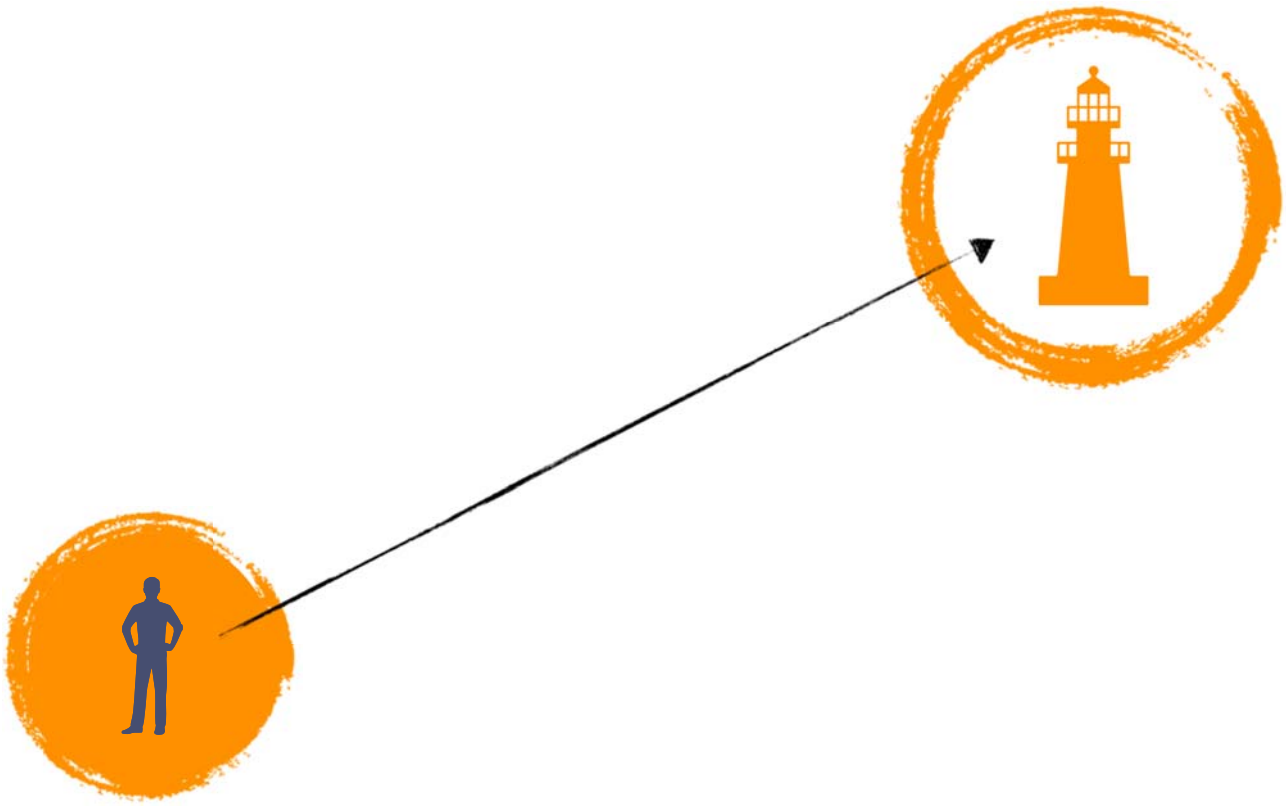
専門性を支える土台



大切なのは目指す灯台（ゴール）の設定



アクションの土台（共有する価値観）



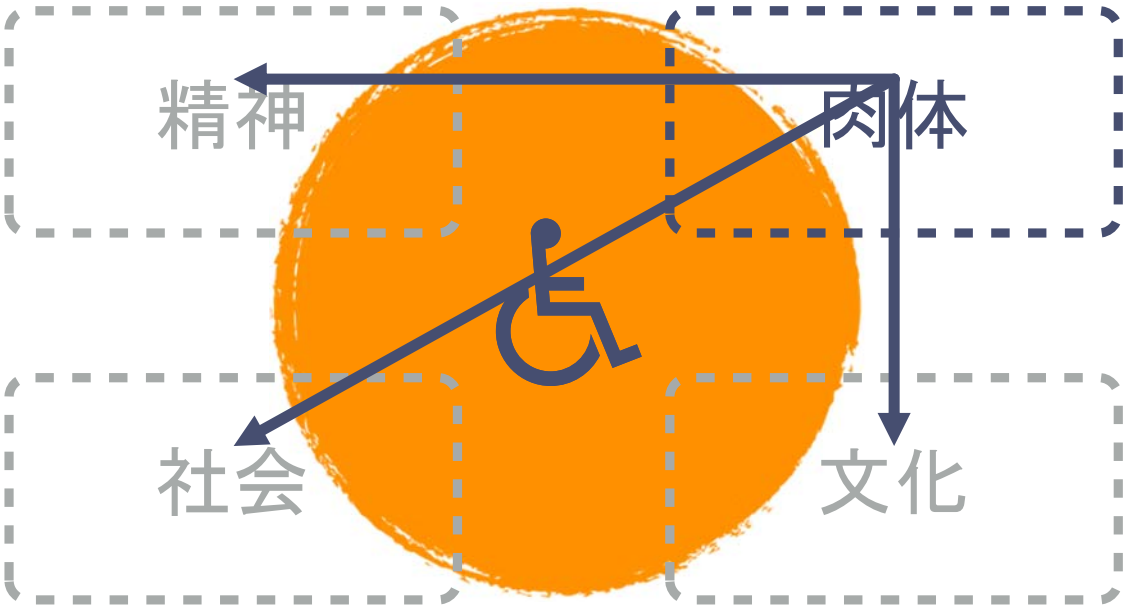
例えば：理学療法士が利用者に接するとき

どこを見ていますか？

例えば：理学療法士が利用者に接するとき

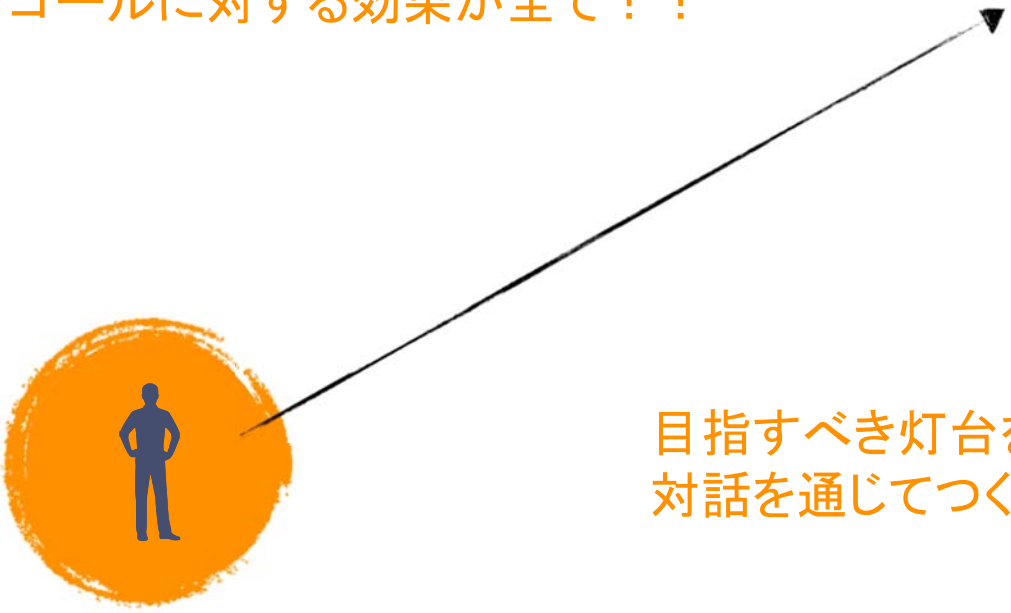
全体性を見て初めてその人と「出会った」

例えば：理学療法士が利用者に接するとき



②灯台（ゴール）の設定するか

手段や方法は重要ではない
ゴールに対する効果が全て！！



目指すべき灯台を
対話を通じてつくる

日本でもデンマーク研修を藤沢でやっていきます！！

Momoyo Jørgensen

ぐるんとびー presents デンマーク研修2019

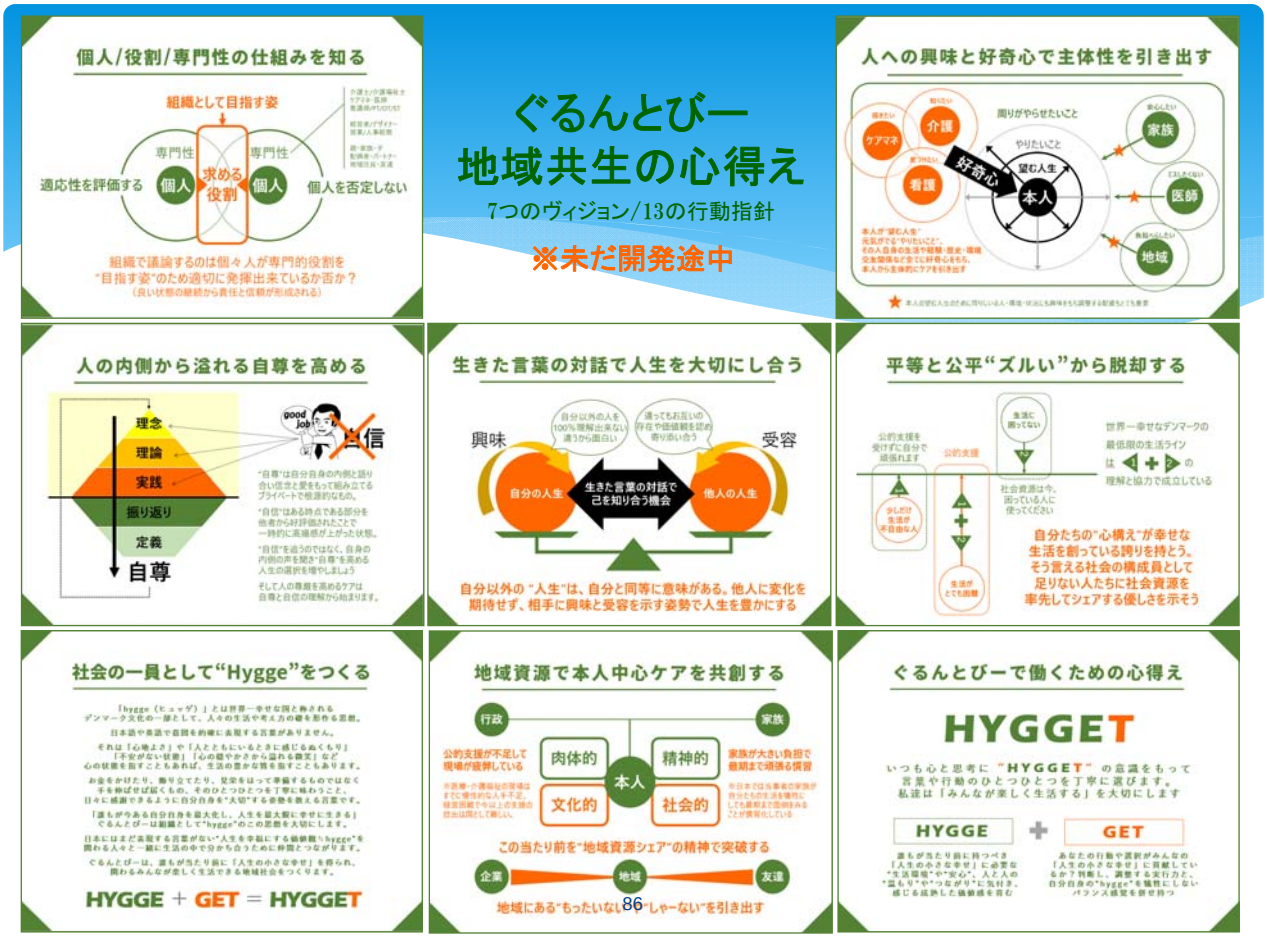
哲学・地域道徳を仲間と学ぶ
デンマーク研修

ぐるんとび一 presents デンマーク研修2019

既存の価値観、正しさに捉われず

トライ＆チャレンジで

突き進んでいく時代



ぐるんとびーが大切にする共生ヴィジョン

～関わる誰もが「人生の小さな幸せ」を積み重ねるために～

“その人らしさ”を認め、みんなの人生を最大化する

あなたは価値ある大切な人です。同じようにあなたと関わる誰もが価値ある人生の主人公であり、学ぶべき師です。私たちは全ての人生を尊重します。

Always Valuable Why for Everything.

本当に正しいが分からない世の中だから、つねに前向きに、建設的に「誰かの（あなたの）当たり前」に疑問を持ち柔軟な発想で乗り越えます。

チャレンジと実行の共有を大切にし、公平に評価する

目の前で困っている誰かのためにリスクを背負ったチャレンジと実行が世の中を良くすると信じます。その共有を大切にし、公平に評価します。

地域社会は子どもと大人の相互学習の場として活用する

人生は学びの連続です。地域社会での世代や生活環境、仕事内容や価値観が異なる人と人の多様な交流を活用して、豊かな人間形成を目指します。

みんなが気持ちよく働き、助け合える環境を作る

働くみんなの人生も最大化するため、お互いを尊重し合い、精神的にも、身体的にも、物理的にも安心して、心地よく過ごせる職場環境を作ります。

生活を支える専門家として向上心を持ち、粘り強く成長する

生活（人生）を支える専門家として、介護や医療、福祉の専門性の向上はもちろん、ひとりの人間として学び、謙虚な姿勢で成長を続けます。

人との“つながり”が生む、人生の豊かさを応援する

小さな私たちの力だけでは解決できない問題が地域社会には山積みです。人との“つながり”が価値ある人生を作ると信じて、その機会を応援します。

87

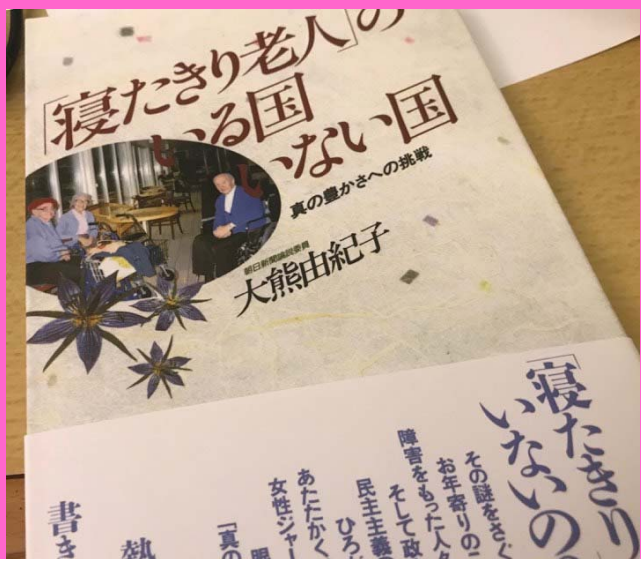
みんなが小さな幸せを得られる社会へ
一歩ずつ、悩み・学びながら進んでいきます

生を受けた人すべてと
共に生きようとする道

利己的遺伝子が『乗り物』である
私たちに命ずるにもかかわらず

その弱肉強食の本能に逆らう道。

それこそが、人間が他の動物と違う
人間の人間らしい道なのではないか。

そう、私は思うのです。

大熊由紀子